

2008.7.13 晴れ 鈴鹿・元越谷—仏谷左俣—水沢峠—元越谷林道 SH 例会



左、大河原橋手前の空き地

右、元越谷への下り口

元越谷スタート



818 駐車場 851 元越谷への下り口 903-915 仙ノ谷分岐（靴履き替え） 1025-1035 仏谷分岐 1122-1134 仏谷二俣 1151-1241 左俣で昼食 1329-1335 P930 手前の稜線 1355-1410 水沢峠 1455-1508 林道取り付き 1604 駐車場



左、仏谷二俣・右俣はゆるい滝となっている

右、もうすぐ稜線



左、稜線の登りきったところにテーブルあり

初めての鈴鹿の沢。今回の沢は花崗岩の存在でヒルがないとのこと。6月の初めに鎌ヶ岳—水沢岳—水沢峠—元越林道のルートをとったが、ここの沢の水のきれいさに感激していたが、1ヶ月強で沢歩きの実現となった。

仙ノ谷の分岐を過ぎて30分くらいで元越大滝に着いた。15mあるらしい。右手より高巻いて上部にのぼる。仏谷の分岐で元越谷を離れ、仏谷を進む。仏谷二股の右俣は大きな岩の上をゆったりときれいな水が流れている。左俣を進む。



左、P930  
右、水沢峠



元越林道

左俣はゆるく、長く続き稜線につく。稜線には赤テープがあった。北に水沢岳、北東に雲母峰、東に入道ヶ岳、南西に宮指路岳を望むことができる。水沢峠から、6月と同じ道を下る。

鈴鹿の沢は、大きな花崗岩のうえをきれいな水が流れ、水量も多く、泳ぐひとが多いということも納得。ヒルもいないのも GOOD。

今回は沢に落ちてもいいような、準備をしてきたが、落ちることはなかった。が、今後のためには、ドボンを意図的にでも経験すべきであったと後悔した。

カメラは防水のカメラの初使用であった。ドボンはなかったので防水のチェックはできなかったが、感度が低い (ASA800) ために、手振れによるボケが多発、今後注意しよう。

カメラ ; オリンパス  $\mu$  850SW

---

次ページは GPS データ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) 及び数値地図 50mメッシュ (標高) を使用したものである。

(承認番号 平17総使、第290号)

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>

トップページは <http://mametil.googlepages.com/home>



